

<生き方を残して>

申命記 8 : 1 ~ 10

死ぬ間際に愛する人からメッセージを残されたことがありますか？

調査対象の83%が「はい」と答えた。

どんな内容だったか？ 受けた側の思いは？ そしてその後は？

◆救われて、神の子とされたクリスチャンはどんなメッセージを残せるだろうか。

申命記・・・人生の終盤を迎えるモーセが、辿ってきた道のりを振り返って民に語った。

約束の地を目前にして、新しい時代を築く民に向けて繰り返して命じた言葉。

【モーセの生涯】

- 0 ~ 40歳 王の子としてエジプトで育つ。エジプト人に痛めつけられている同胞を助けようと、自らの手を下したことでエジプトを追われる。
- 40 ~ 80歳 遠いミデヤンの野で羊飼いをして過ごす。80歳の時にエジプトから民を救い出すように、神様から召命を受け再びエジプトへ。
- 80 ~ 120歳 出エジプトを果たし、民を導いて約束の地を目指す、40年間荒野を彷徨う旅となり、約束の地を目前に最期を迎える。

◆モーセは次世代の者たちに向けて、神にすべてを信頼し、従順に従い、祝福の実を結ばせるために語った。

苦境 悲しみ 恐怖 他・・・

しかし！ 主はそのただ中におられる。そのことを私たちが知る。

あなたの神、主が、この四十年の間、荒野であなたを歩ませられた全行程を覚えていなければならぬ。それは、あなたを苦しめて、あなたを試み、あなたがその命令を守るかどうか、あなたの心の中にあるものを知るためであった。それで主は、あなたを苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの先祖たちも知らなかったマナを食べさせられた。それは、人はパンだけで生きるのではない、人は主の口から出るすべてのもので生きる、ということ、あなたにわからせるためであった。

【2、3節】

試練があると・・・

病気があっても、人間的に見たら不幸に思えることがあっても、イエス様を信じて罪赦されて神の子となっていることを信じることができるか。人に伝えていけるか。本当に喜びをもって感謝できるかというところに追い込まれていく。

私を砕き、御手を伸ばして私を絶つことが神のおぼしめしであるなら、私はなおも、それに慰めを得、容赦のない苦痛の中でも、こおどりして喜ぼう。私は聖なる方のことばを拒んだことがないからだ。

ヨブ記 6 : 9, 10

苦しみに自分を支配させていないか？

苦難に自分の人生を支配されていないか？

イエス様はその苦しみを十字架に背負って3日目に蘇られた。

苦しみはあるけれど、その支配は受けない。

「あなたの心のうちにあることを知るためだった。」

試練を通して、神に従うかどうか、人の内側にある本心を神の前に明らかにするためだった。

この四十年の間、あなたの着物はすり切れず、あなたの足は、はれなかった。 4 節

「罪咎を赦され」を作詞したファニークロスビーは幼い頃、失明した。

暗闇の世界に支配されず、主と共に生きて多くの賛美歌を作り主をたたえた。